

(第2号様式)

首里第 2712 号
令和6年3月6日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立首里学校
校長 津野 良信
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年7月19日 16:00～17:00	場所	本校会議室	出席 状況	5人中3人出席
第2回	日時	令和5年12月21日 14:50～17:00	場所	各HR教室等(授業観 察)	出席 状況	5人中3人出席
第3回	日時	令和6年2月22日 16:00～17:00	場所	本校会議室	出席 状況	5人中5人出席

2 学校評議員に求めた事項

本校の学校経営方針、重点目標、全職員共通のテーマや生徒の実績に関する事項、前年度の学校評価等について報告を行った。また、教務部・進路指導部・生徒指導部・各学年の各主任及び染織デザイン科科长より、令和5年度の取り組み状況等について資料を基に詳しく説明を行った。質疑応答及び指導助言を通して様々なご意見を頂いた。

3 学校評議員の意見

- ①首里高校の強みは特別活動である。コロナの規制が緩和されるので、特別活動で学校を盛り上げてもらいたい。
- ②コロナの影響か、遅刻等勤怠状況が悪くなっている。課題を抱える生徒への対応を適切にお願いしたい。
- ③地域課題に関心を持ちつつ伝統校として地域に根ざした教育を期待する。
- ④これからの社会は何を武器にして生きていくのかが必要とされる。首里高校はバランスのいい学校である。伝統校として沖縄県をリードする人材の育成をして欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- ①教育相談係、養護教諭、各学年主任、HR担任及び管理者で、課題や悩みを抱える生徒・不登校傾向のある生徒等の情報共有を密に行い、必要に応じて職員会議等において確認し、全職員で対応にあたる体制を確立できた。
- ②感染症に留意しながら、通常通り生徒主体で行事等を開催した。生徒の人間関係形成力や自己実現を図ろうとする態度を育成することができた。

5 課題その他

- ①地域との交流や地域とのつながりを深める機会の検討
- ②多様な背景を持つ生徒への指導・支援の体制の検討